

柔道部に畳135枚、名大教授が寄付 学長から感謝状

名古屋大学柔道部の師範でもある二村雄次・医学部教授(63)が柔道部に畳135枚を寄付し、27日、大学構内の柔道場で平野真一学長から感謝状を贈られた。二村教授は3月末で定年を迎えるが、「新しい畳で気分一新頑張つて」と部員たちにエールを送つた。

柔道部の畳は12年間使用しており、一部で傷みが激しく、けが人が出たこともあつた。名大では毎週土曜、地元の高校生や社会人にも道場を開放していることもあり、「退職前には畳をきちんとしたものにしてやりたい」との思いが二村教授にはあつた。

この日は愛知、静岡両県の中高校生約50人も参加。クッションのよく効いた真新しい畳で乱取りげいこを行った。現在、名大の部員は10人。「道場は外部にもどんどん開放し、柔道人口の拡大につながってほしい」と期待している。